



コトノン便り

言の葉 2026 年テーマ「コトをカタチへ」

10

2026
NO.125



言の葉の存在意義

Purpose

「リハビリテーションの力で、“その人らしさ”と“その街らしさ”を育む」



Instagram



HomePage

思っていることの半分以上、今やっていることの倍以上

先日、「失語症全国大会 in 佐賀」に、デイサービスの利用者さん、ご家族、スタッフ総勢23名で参加しました。

1日目は大会に参加し、夜はホテルで宴会。2日目は有田焼の「アリタセウ」を観光し、食事を楽しみ、基山SAでお土産を買って帰るという一泊二日の旅でした。

道中、いくつかのハプニングもありましたが、それも含めて愉快で充実した旅となり、皆さんにとって思い出に残る時間になったのではないかと思います。

特に盛り上がったのが、1日目の宴会です。はじめの挨拶を担当されたMさんは、年明けに息子さんの結婚式を控えています。そこで今回は、新郎の父としての挨拶の練習も兼ねて、宴会のはじめの挨拶をお願いしました。

いざ本番。

皆さんの前に立ち、話し



全国大会の様子

始めようとしたところで、「忘れてしまった」と苦笑い。その一言に、会場は大笑い。それでも何とか最後まで挨拶を終え、宴会が始まりました。

続いて乾杯の発声です。昨年の佐伯旅行でも乾杯を担当したNさんを、その場で突然ご指名。少し恥ずかしそうにしながらも、即興で立派な挨拶をされ、皆さんから大きな拍手が起りました。

その後は、一人ひとりのスピーチへ。

お酒も入り、身振り手振りで笑いを誘う方、渾身の一言でみんなを感動させる方。普段のデイサービスではなかなか見ることでできない、皆さんのいろいろな表情を見ることができました。

今回の参加者には、病気をされてから初めて旅行をする方、初めて宿泊をする方も多くいらっしゃいました。

旅行前には、「トイレは大丈夫だろうか」「移動できるだろうか」「お風呂には入れるだろうか」と、たくさんの不安があったと思

います。

その一方で、「お酒を飲みたい」「美味しいものをたくさん食べたい」「温泉に入りたい」「みんなの前でしっかりスピーチをしたい」「有田焼を買いたい」、そんな「やってみたいこと」も、たくさんあったのではないのでしょうか。



宴会の様子

もちろん、旅行前に思い描いていたことのすべてができたわけではないかもしれませんが、それでも、**言いたかったことの半分以上は伝えられた。やりたかったことの半分以上はできた。**

そして何より、**いつもの倍以上に話し、いつもの倍以上に食べ、いつもの倍以上に笑い、お酒も楽しんでいました。**

今回の旅を通して改めて感じたことがあります。

「ああしたい」「こうなりたい」と思うこと。そして、そのために日頃から一つでもチャレンジして

いること。それだけでも大切ですが、そこに一緒に挑戦する『仲間』がいることで、一人では難しいことにも手が届くのかもしれません。

思っていることの半分以上を力タチにする。

今やっていることの倍以上に挑戦してみる。

そんな力が、仲間と一緒に生まれてくる。

「一泊旅行を実現したい」

「失語症の全国大会にみんなで参加したい」それは、私自身も含め、スタッフや利用者さん、ご家族が思い描いてきた『コト』でした。

コトをカタチへ。

みんなの『コト』が、また一つ『カタチ』になった9月でした。



中村 太一
代表取締役 言語聴覚士

言の葉の誓い Statement

1.「らしさを広げる」

私たちは、「あなたらしさ・私らしさ・私たちらしさ」を大切に、共に広げていきます。

コミュニケーションデイサービス 言の葉

失語症全国大会 i n 佐賀 参加紀行

9月12日に開催された「失語症全国大会 i n 佐賀」の思い出をまとめました。

1日目

7時15分集合

道中は恒例の
自己紹介タイムと〇×大会

佐賀大会参加



旅のしおり（是永 ST 作）を見ながらいざ出発。



集合場所にはそれぞれで集合。お一人で来られて待機される方も。今年で4年目の旅行企画。待ち合わせに慣れてきた人も増えました。



言の葉バスガイドの渡邊 ST の司会進行でバスの中も賑やか。



たくさんの参加者に圧倒されながらも、いつにもなく真剣な表情で聴講

徐々に緊張も和らぎ、
少しずつ笑顔と
ピースの余裕も！



言の葉の誓い Statement

2.「食と会話でつながる」

私たちは、コミュニケーションと食をテーマに、人と人のつながりを生み出します。



言の葉のみなさんも紹介



言の葉の紹介と大分大会開催の時の得重大会長の挨拶



他県からの参加者とも交流しました

以前言の葉に勤めていた
津山 ST もかけつけてく
れました。
得重さんとは 10 年以上
ぶりの再会。



宴会

ホテルロビー到着



はじめの挨拶



乾杯の発声



美味しい食事と
美味しいお酒。
何度も乾杯！！



言の葉の誓い Statement

3. 「人と街を信じる」

私たちは、その人の力を信じ、その街の力を信じ、リハビリテーションの視点から新しい可能性を共に開きます。



お一人ずつのスピーチでは、笑いあり、涙あり

宴会の司会進行は渡邊 ST



鶴岡 ST と大浴場（温泉）へ
温泉後の一杯



ホテルからは花火も



2 日目

アリタセラ

有田焼のお店が集まるアリタセラへ



お昼ご飯は、佐賀牛を。みなさんいつもよりたくさん食べた 1 泊 2 日でした。



基山 SA

仲間がいれば、思っていることの半分以上はできる！さらに、今やっていることの倍はできる！
そんな 1 泊 2 日の旅となりました。

来年は、令和 9 年 9 月 18 日(土)に福岡県北九州市で失語症全国大会が開催されます。今回出会った全国の方と来年再会することを約束し佐賀を後にしました。

来年も大分から大勢で参加しましょう。

言の葉が目指す未来 Vision

「障害のある人もない人も皆が支え合い、豊かに暮らせる街を育む」

訪問看護ステーション 言の葉

新入職員の紹介



訪問看護師
深田 哲子

9月から訪問看護ステーションに新しい仲間が加わり看護師5名、リハビリ4名の9人体制になりました。

深田Nsは、小児病院での経験が長い看護師さんです。深田Nsの経験を取り入れながら医療的ケアが必要なこども達への支援の充実を図っていきます！



今年の漢字一文字

深

初めての訪問看護で、ご指導いただく方々からの学びに深く感謝し、その学びを自分の力として深めていきたいです。

看護の質を深め、お一人お一人の生活や思いを深く理解し、一歩先の看護を届けられる看護師を目指します。
これからたくさん学ばせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願います。



体調確認の様子



こどもへの支援の様子



ケーキなのかのチェックや安全に食べるための検討。

利用者さんの誕生日祝いのケーキの試食会。

利用者さんの飲み込みの状態から安全に食べられる

言の葉が果たす役割 Mission

全世代の人生に寄り添うリハビリテーション

「こどもから高齢者まで全世代に、生活を創造する真のリハビリテーションサービスを提供し、その人の人生を共に歩みます」

言の葉きっず

危険予知訓練(KYT)の流れ

言の葉きっずでは、事故防止の取り組みの1つとして危険を予測したり発見するためのトレーニングKYTを行っています。
危険予知訓練は、職場や環境に潜む危険要因を発見し、解決する能力を高める手法です。



KYTには4段階(4ラウンド)あり、それを元にKYTを行います。

1R どんな危険がひそんでいるか？

2R 特に危険なポイントを考える！

3R 危険なポイントについて、あなたならどうする？

4R 私たち(言の葉きっず)はこうする！

今回は「公園で遊んでいる場面」を想定して、KYTを行いました。

1R どんな危険がひそんでいるか？



2R これが危険ポイント！

(特に危険なポイント)



3R あなたならどうする？

- 道路の近くでボール遊びはせず、公園の中心(道路に近くない場所)でボール遊びをする
- ボールで遊ぶ時は、道路にボールが行かない方向を向いて遊ぶよう誘導する
- 柵がない公園や狭くて道路に近い公園では、ボール遊びを控える。または、ボールが散らばらない遊び方を提案する

4R 私たちはこうする！

- ボール遊びをしても安全な場所で遊べるよう、こども達を誘導する
- 公園に行く前に何をして遊ぶかこども達に確認し、ボール遊びをする場合は、ボール遊びができる公園を選ぶ
- 柵がなく、小さな公園などボールがどうしても飛び出してしまふ場所ではボール遊びを控える
- ボール遊びができない場合には「なぜできないのか」をこども達に伝え、「〇〇ができる場所・できない場所」があることを伝え、学んでもらう



10月に入って、外も涼しくなり、公園に行くことが少しずつ増えていきます。今回、行ったKYTの内容を職員全員で共有し、こども達が安全で安心して楽しく過ごせるよう支援していきたいと思います。



敬老の日の制作活動を行いました。
おじいちゃん、おばあちゃんに向けて「ペン立て」と「しおり」を作りました。
こども達は一生懸命、感謝を込めて制作していました。

言の葉が大切にしている価値 Value

1.Mind いつも笑顔で真心を届ける

言の葉きっず

素敵な瞬間♪

Aさんの成長



1 夏休みにうみたまごへ

言の葉きっずでは、夏休みに外出活動の一つとして、子ども達とうみたまごに行きました。

2 それぞれの楽しみ方で見学

どんどん進んで、いろんな魚を見て楽しむ子、魚が得意ではなく少し離れて見て楽しむ子など、一人ひとりの楽しみ方でうみたまごを周りました。

3 どうしてもばらばらになることも...

基本的にみんなでまとまり、一緒に行動するよう誘導しましたが、先に進む子や進みが遅くなる子など様々で、どうしてもばらばらになってしまうこともありました。

4 一人ひとりの感じ方に合わせて

魚が得意・不得意、人がたくさんいる場所が苦手など、子ども達によって感じ方は様々です。無理に全員で集団で動くのではなく、それぞれの得意・不得意を理解し、ある程度まとまって動けるようスタッフは誘導していました。

5 Aさんの素敵な行動

上級生のAさんは、集団から離れずに進み、離れそうなお子がいいたときにはその子を気かけ、手を繋いでくれるといった行動をしてくれました。

6 ご家族にも成長を感じていただきました

後日の家族面談でこのことをお伝えした際、保護者の方から「以前のAさんだったら勝手にどこかに行ってしまっていた。お話を聞いてAさんの成長を感じます」とお話してくれました。

7 今はできないことでも...

「今はできないこと」でも、「本人のペースで上手になってくる」ということを、今回の素敵な瞬間を通して感じました。

以前は勝手にどこかに行ってしまっていた。 → 今は集団から離れず周りの子も気にかけるように!

8 家族面談の目的と、これからの支援

言の葉きっずでは、定期的に保護者の方と個別での面談や、複数のご家族にご参加いただく集団での面談を設けています。ご家族と面談をさせていただく目的は以下の通りです。

- 1 子どもの成長を語り合い、共に感じる
- 2 一人ひとりの目標を話し合い、ご家族と言の葉きっずのメンバーと一緒に子どもを支える
- 3 ご家族の思いや考え、不安や悩みを一緒になって考えて支える

これからも、家族面談を通して、子ども達を支援し、ご家族のサポートを継続していきます。



夏休みは戸外・地域活動が盛りだくさんでした。①田の浦ビーチ・うみたまごへのお出かけ、②フライドポテトづくり、③ときめき作品展に向けた作品づくりなどなど。





珈琲飲み隊 コトレンジャー



1号 コトグレン



2号 コトキチ



3号 コトミツ



4号 コトハ



5号 コトノン



6号 コトリーナ



7号 ごんやう



8号 コトコ



FAX : 097-509-1320
Mail : kotonoha@habisapo.jp

QR コード



Instagram



公式 LINE



注文先 ご注文やお問合せは FAX、Mail、QR コード、DM、公式ラインなどからお受けしています。

大分市内の方は配達にてお届けします

	豆 200g 1,300 円 (税込)	粉 200g 1,300 円 (税込)	ドリップバッグ 10g 250 円 (税込)	氏名	
1号 コトグレン	個	個	個	住所	
2号 コトキチ	個	個	個		
3号 コトミツ	個	個	個		
4号 コトハ	個	個	個	電話番号	
5号 コトノン	個	個	個		
6号 コトリーナ	個	個	個		
7号 ごんやう	個	個	個	メール	
8号 コトコ	個	個	個		

失語症就労支援 言の葉 SHOP

言の葉が大切にしている価値 Value

3.One Team 一致団結して前進する

Jun's Essay No.67

70を過ぎてから②

神様から与えられた特別な時間

前号の続きで、作家の林真理子氏のベストセラ―著書*から、これから後悔しないために、70代から「しないほうがいいこと」という視点で、少しだけ紐解いてみる。

三、葬儀をパスしてはいけない..

70代を過ぎると、時間は少しかける一方、お金のことは気になってくる。冠婚葬祭にどこまで付き合うか。これは多くの人が悩ましく感じているのではないだろうか。付き合いに無理をする必要はないにしても、それほど親しくない人の結婚式や、義理だけのお付き合いは、少し整理してもいい。若い頃と同じように出席する必要はない。でも葬儀や偲ぶ会のようなお別れの会は大切にしたい。これは亡くなった方だけのものではなく、自分自身が「あのひとちゃんとお別れできた」と思えることが



前大切なのだ。70代からは親しい人との別れが少しずつ現実となる。だからこそ会える時に会う、見送る時には、できるだけ見送る。暗い話ではなく、人との繋がりを最後まで大事にすることなのだ。70代からしてはいけないのは、「もう面倒だから」「遠いから」と大切な別れを後回しにしてしまうこと。体調が悪かったりや事情があれば無理はできない。でも、行けるなら行く。会えるなら会う。伝えられるなら伝える。こうしたことが後になって自分の心を支えてくれるのだ。

四、「そのうち」と思ってはいけない..

若い頃は、「また今度」とか、「そのうち行こう」「落ち着いたら連絡しよう」で済んだかも知れない。しかし、70代からは、その「そのうち」が本当に来るとは限らない。本の中で印象的なのは、著者が友人から言われた「私たちには時間がない」という言葉だ。「まだ元氣」「まだ歩ける」「まだ忙しい」「まだ予定がある」と思っている、同年代の友人が少しずつ旅立っていく現実が、70代から少しずつ身近になっていく。だからこそ、「そのうち」ではなく、会いたい人には

会えるうちに会う。旅行などもそう。だ。「いつか行きたい」ではなく、「行けるうちに行く」。「今度伝えよう」ではなく、「言えるうちに言う」ところが大切なのだ。時間が限られていると考えると、寂しく感じるかも知れない。しかし、見方を変えれば、これは今を大切にするための合図でもあるのだ。だから今日という一日をちゃんと味わう。会える人を大切に。行ける場所に足を運ぶ。70代からしてはいけないのは、「時間がまだ十分ある」と思ってしまいうことかも知れない。

*『80代になるとたいいボケるか死ぬ。70代は神様から与えられた特別な時間』林真理子著
(幻冬舎新書)



森 淳一
言語聴覚士

大分県の言語聴覚士の第一人者（第3代大分県言語聴覚士協会会長 H19～H23）。

湯布院厚生年金病院リハ副部長、大分リハビリテーション病院リハ部長を歴任。現在も日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、大分オーラルリハビリテーション研究会代表等を務める。趣味は音楽、パソコン、映画鑑賞、お酒などなど。

言の葉が大切にされる価値 Value

4.Community 地域の一員としてつながる

言の葉作品展

令和の
米騒動

有機野菜
料理

元牧草
小屋

鶏料理
専門店



言の葉が大切にする価値 Value

5.Challenge 挑戦の一步を踏み出す

米米月記（衛藤農家さんのお米づくり）



今年もしっかり穂が実っています。
10月に入ったら稲刈りが始まります。
今年の新米のご注文案内は10月中には皆様にご案内できるよう準備を進めています。
今年の新米も楽しみです。



デイサービスのプール田んぼも
そろそろ稲刈りを行います。



言の葉間違い探し



間違い5つ見つかりましたか？
正解は、こちらから確認してね。→

